

## 総合評価方式による競争入札の試行方法

### 1 総合評価方式による入札の概要

総合評価方式による入札とは価格のみの入札ではなく、価格と価格以外の要素（競争参加者の技術的能力、品質の向上にかかる技術提案）を総合的に評価し、技術と価格の両面からみて最も優れた案を提示した者等を落札者とする方式。

#### (1) 総合評価方式による入札の効果

- ア 工事目的物の性能、品質の向上
- イ 長寿命化、維持修繕費の縮減、施工不良の未然防止等による総合的なコストの縮減
- ウ 交通渋滞対策、環境対策、安全対策等への対応
- エ 事業効果の早期発現（工期短縮等）
- オ 民間企業が技術力で競争することで、モチベーションの向上が図られる。
- カ 価格以外の要素が考慮された競争が行われることによる談合等の不正防止

### 2 三島市が試行する総合評価方式の種類、施行方法等について

#### (1) 評価方式の種類

国土交通省のガイドライン等に示されている「簡易型」の方式を、次の種類に分けて試行する。

##### ア 施工計画評価型

同種工事の経験、工事成績、企業や配置技術者の実績等に加え、簡易な施工計画と入札価格とを総合的に評価する。

##### イ 実績評価型

同種工事の経験、工事成績、企業や配置技術者の実績等に基づき性能と入札価格とを総合的に評価する。

#### (2) 入札方式

原則、制限付き一般競争入札で行う。

#### (3) 総合評価方式における落札者の決定

入札者の申し込みに係る技術提案等の各評価項目の得点の合計（技術評価点）を当該入札価格で除して得た数値（評価値）の最も高いものを落札者とする除算方式を採用する。

##### ア 評価値の算出式

$$\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点}}{\text{入札価格}} = \frac{\text{標準点} + \text{加算点}}{\text{入札価格}}$$

※入札価格が、「調査基準価格入札書比較価格」を下回った場合は、「調査基準価格入札書比較価格」を評価算定上の入札価格として算出する。

##### イ 技術評価点の考え方

標準点：発注者の設定する仕様（最低条件）を満足する場合に100点を付与

加算点：企業の技術力、技術者の能力、施工上の課題に対する技術提案等の評価に応じて点数を付与

ウ 評価値が同じ数値の場合は、くじ引きにより落札者を決定する。

注) 総合評価の具体例

(実績評価型の入札、予定価格5,000万円、4社の場合)

	標準点	加算点	技術評価点①	入札額 (万円)②	評価値 ①/②×100	順位
A	100	2	102	4,000	2.550	3
B	100	4	104	4,400	2.363	4
C	100	10	110	4,100	2.682	1
D	100	6	106	4,150	2.554	2

この場合、4,100 万円で入札した業者Cが落札者となる。

- (4) 総合評価方式における加算点の設定 技術提案、企業の技術力、信頼性、社会性等に応じた加算点の範囲は次のとおりとし、工事の特性（工事内容、規模等）に応じて得点配分を行うものとする。

区分	加算点の範囲	評価項目
施工計画評価型	30	簡易な施工計画、企業・技術者の能力、企業の社会性
実績評価型	15	企業・技術者の能力、企業の社会性

- (5) 総合評価方式における評価項目及び評価基準の設定

別紙の「総合評価方式における落札決定基準の標準モデル」を参照し、案件ごとに適切に設定する。

### 3 中立かつ公正な審査・評価の確保

#### (1) 学識経験者の意見聴取

地方自治法施行令の規定により、総合評価方式の適用に当たっては、発注者の恣意を排除し、中立かつ公正な審査・評価を行うため、評価基準や落札予定者の決定等について学識経験者から意見聴取を行う。なお、意見聴取は、静岡県が設置する総合評価審査委員会に依頼する。

#### (2) 評価項目の公表

総合評価における入札者の技術提案等の評価及び落札結果等については、記録し契約後早期に以下の事項を公表する。

- ア 契約の相手方
- イ 各業者の入札価格
- ウ 各業者の評価値

### 4 技術提案内容の担保 落札者決定に反映された技術提案について、その履行を確保するため、受注者の責めにより履行されない場合には、工事成績に反映させる。

## 総合評価方式における落札者決定基準の標準モデル

## 施工計画評価型

評価項目		評価基準	配点	最大得点
簡易な 施工計画	工程管理に係る技術的所見	各工程の工期及び工事手順が適切であり、工期短縮等に優れた工夫が見られる。	5.0	5.0
		各工程の工期及び工事手順が適切であり、工期短縮等に工夫が見られる。	3.0	
		各工程の工期及び工事手順が適切である。	0.0	
	施工上の課題に対する技術的所見	課題への対応が現地条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえて適切であり、優れた工夫が見られる。	5.0	5.0
		課題への対応が現地条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえて適切であり、工夫が見られる。	3.0	
		適切である。	0.0	
企業 の 技術 力	過去 10 年間の同種工事の実績の有無	同種工事の施工実績あり	1.0	1.0
		同種工事の施工実績なし	0.0	
	当市における過去 2 年間の工事平均検査点数	77 点以上	3.0	3.0
		74 点以上 77 点未満	1.0	
		74 点未満または完成実績がない	0.0	
	当市における過去 2 年間の優良工事表彰の有無	同種工事における表彰の実績あり	1.0	1.0
同種工事における表彰の実績なし		0.0		
品質確保システムの取組み状況	I S O 9001 の認証を取得している。	1.0	1.0	
	認証を取得していない。	0.0		
配置 予 定 技 術 者 の 能 力	技術者資格	1級土木施工管理技士及又はこれと同等以上の資格	1.0	1.0
		その他	0.0	
	過去10年間の主任(監理)技術者としての同種工事の施工経験の有無	同種工事の実績あり	1.0	1.0
		同種工事の実績なし	0.0	

企業・ 社 信 社 頼 会 性 性 等	災害協定締結 の有無	当市と災害協定の締結あり	1.0	1.0
		当市と災害協定の締結なし	0.0	
	環境マネジメントシ ステム等の取得 状況	I S O14001 の認証を取得している。	1.0	1.0
		認証を取得していない。	0.0	
加 算 点			20.0	

- 1 工程管理方法に関しては施工を進めるに当たり工程上配慮すべき点や不測の事態で工程に遅れが生じた場合の対応、工期短縮に向けた工夫などスムーズに工事が行われるような所見について総合的に評価することとし、単なる工期短縮日数のみの提案は原則、評価しない。
- 2 工事は原則、昼間の片側交互通行で行うものとし、土・日曜日及び祭日は工事を行わない。
- 3 同等以上の資格とは、1級建設機械施工管理技士又は技術士（建設部門又は総合技術管理部門）の資格をいう。
- 4 同種工事は、〇〇千万円以上の〇〇工事とする。
- 5 工事成績の対象工事は、三島市が発注した土木一式工事であり、直近3年度の各年度の平均点を 施工実績がある年数での平均で評価する。